

紙面紹介

新春合併号
1・4・5面 たたかう女性たち
2・3面 新春あいさつ 年初抱負
6・7面 25春闘/国民運動
8面 クロス/労働相談の窓
E-mail lapaz@chihyo.jp
URL http://www.chihyo.jp

TOKYO はたらく仲間

260

2025年1月15日
(毎月15日発行)

発行 東京地方労働組合
評議会(東京地評)

定価 1部40円(送料別)

〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10
東京労働会館

TEL 03(5395)3171

FAX 03(5395)3240

理不尽さ、横暴
けっして諦めない たたかう女性たち



多くの仲間がかけつける病院前宣伝

私の職場だと胸をはりたい

雇止め撤回と雇用継続求め提訴

たたかう労働組合だからこそ私たちは、「声をあげること、続けること」の困難さを知っています。そんな中でも「おかしい、なぜ」と、まっすぐに前を見つめて立ち上がった女性の仲間たちです。

岩淵さん(右)と高橋さん

患者さんが第一の病院へ

原動力は仲間と組合

私たちが襲ったコロナ禍というパンデミックに、看護部長として「ワクチン接種」や「発熱外来」と地域に必要な医療体制を構築し、現場を率いた岩淵美和子さんは、入職から5年目を迎える。

岩淵さんは、院長自ら「看護部を立て直したい」と請われ、2019年4月1日に港区にある古川橋病院に看護副部長として1年ごとの有期雇用で入職、1年後に看護部長に昇格し、コロナ禍の中、看護師の離職率を減ら

☆裁判にのぞむもの
岩淵さんは根本的解決にならない金銭解決を選ぶ背中を管理職として見せられないと、職場復帰を求め7月に病院を提訴、これまで3回の期日

「孤軍奮闘となる労働争議は多いけれど、岩淵さんには職場に信頼できる仲間がいる、そのことが彼女を勇気づけているのだらう」と語ります。

組合結成し団交で大幅賃上げ実現

編集部 自己紹介をお願いします
新宿一般みらべる分会
うれしかった
パートの慶弔休暇獲得
新宿一般みらべる分会

☆組合に入ってみて
平和や憲法などの社会問題や地域課題にも取り組む姿に「医療という世界で生きてきた視野が変わりました」と岩淵さん。

岩淵さんは「組合を通じて、多くの場所での闘いを知ってもらう機会を得て、裁判期日には仲間であふれた傍聴席に励まされ、宣伝行動などを通じて、病院内部で理解が深まっている実感は、自分を動かす原動力となっています。私は闘いに勝って、ここが私の職場だと胸をはりたいのです」。

し、病床の稼働率も増やし、黒字運営に貢献してきたにもかかわらず、2023年12月に院長から一方的に契約終了を告げられたのです。

「一瞬、時間が止まりました」と岩淵さん。しかし、何ひとつ理解できないときっぱりと拒否し、周りへのこれまでの不当な扱いを含め信頼できず職場の仲間と相談したところ、組合を勧められ、2024年1月にC

「4面に続く」